P 37

友人の保育実技の観察、および観察されるモデルとなることの効果

田中幸代
(中村学園大学)

【目的】

友人の保育実技を観察すること、および観察されるモデルになることの効果を検討する。

【方法】

1.対象者

保育士資格取得希望者で、保育実習指導を受講している大学3年生 107（女 101、男 6）名。

2.対象授業

平成 15 年 5 月の保育実習指導の授業 8 回（週 1 回×2 クラス）で、保育実技の発表および観察を行った。

3.調査の概要

(1)保育実技の準備、自信の程度を尋ねる質問

友人の保育実技観察前と後に、集団的に質問紙調査を行い、保育実技（8 内容・・・「素話」、「絵本」、「自己紹介・お別れのﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ」、「手遊び・ｱｲﾃﾞｱ遊び」、「紙芝居」、「ペープサート」、「カップ（うちわ、等）シアター」、「エプロンシアター」）について、実習に向けての準備の状況、自信の程度を尋ねた。回答選択肢は、「1.まったく準備していない（まったく自信がない）」から「6.十分準備している（大変自信がある）」までの 6 段階の自己評定であった。

(2)示範した保育実技について尋ねる質問

各学生が保育実技を示範した直後に、質問紙を配り、「発表に対する観察者（クラス）の反応はどうであると感じましたか？」「発表に対するあなた自身の評価はどうですか？」「あなたは、発表のための準備・練習にどれ位熱心に取り組みましたか？」「あなたは、発表のための準備・練習におよそどれ位の時間をかけましたか？」の 4 項目について尋ねた。最初の 3 項目の回答選択肢は、「1.まったく～ない」から「6.大変～であった」までの 6 段階の自己評定であった。最後の項目については、具体的な時間を記入してもらった。

【結果】

1.保育実技観察前後の準備および自信について

観察前後の準備得点平均値は表 1 のとおりであった。示範経験を被験者間要因、内容、前後を被験者内要因として 3 要因の分散分析を行った。その結果、内容（$F(7,595)=122.14, P<.005$）と前後の主効果（F

表 1.　観察前と観察後の準備得点平均値（SD）と多重比較の結果

	< 内								容 >							
	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧	
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
<示範経験>																
①素話	1.42	4.67	2.42	4.42	1.75	3.08	2.42	3.67	1.42	2.42	1.17	1.50	1.08	1.42	1.17	1.33
n=12	(0.76)	(0.94)	(0.86)	(0.86)	(0.72)	(1.44)	(1.04)	(0.75)	(0.86)	(1.38)	(0.37)	(0.50)	(0.28)	(0.49)	(0.37)	(0.47)
	*		*		*		*		*		n.s.		n.s.		n.s.	
②絵本	1.46	2.08	2.46	4.85	1.31	4.23	2.46	4.38	1.46	3.00	1.15	1.92	1.00	1.62	1.23	1.46
n=13	(0.93)	(1.38)	(0.75)	(0.66)	(0.61)	(1.05)	(1.22)	(0.92)	(0.75)	(1.30)	(0.53)	(1.07)	(0.00)	(1.08)	(0.80)	(1.08)
	n.s.		*		*		*		*		*		n.s.		n.s.	
③自己紹介・お別れのﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ	1.50	1.50	2.30	3.80	1.80	4.10	2.40	3.20	1.80	2.50	1.00	1.60	1.00	1.30	1.40	1.50
	(0.92)	(0.81)	(1.00)	(1.17)	(1.25)	(1.64)	(1.43)	(1.60)	(0.98)	(1.12)	(0.00)	(0.80)	(0.00)	(0.64)	(0.92)	(0.92)
n=10	n.s.		*		*		*		*		n.s.		n.s.		n.s.	
④手遊び・ｱｲﾃﾞｱ遊び	1.22	1.33	3.00	4.22	1.56	3.89	2.44	4.22	1.33	2.33	1.11	1.67	1.00	1.44	1.00	1.44
	(0.42)	(0.47)	(0.67)	(0.63)	(0.96)	(1.59)	(1.17)	(1.03)	(0.67)	(1.41)	(0.31)	(1.25)	(0.00)	(0.68)	(0.00)	(0.96)
n=9	n.s.		*		*		*		*		n.s.		n.s.		n.s.	
⑤紙芝居	2.07	2.50	2.57	4.36	1.43	4.07	2.36	3.86	1.43	3.50	1.07	2.14	1.29	1.21	1.14	1.14
n=14	(1.10)	(1.12)	(1.12)	(0.81)	(0.62)	(1.22)	(0.89)	(1.06)	(0.62)	(1.05)	(0.26)	(1.55)	(0.80)	(0.56)	(0.35)	(0.35)
	n.s.		*		*		*		*		*		n.s.		n.s.	
⑥ペープサート	1.08	2.00	2.50	4.25	1.58	3.92	2.42	4.42	1.08	2.50	1.00	5.17	1.00	2.00	1.58	1.92
n=12	(0.28)	(0.82)	(1.12)	(0.43)	(1.11)	(1.55)	(1.04)	(0.76)	(0.28)	(1.32)	(0.00)	(0.99)	(0.00)	(0.91)	(1.11)	(1.19)
	*		*		*		*		*		*		*		n.s.	
⑦カップシアター	1.27	1.55	2.55	4.00	1.27	3.45	2.55	4.00	1.45	2.09	1.00	1.91	1.00	5.45	1.00	1.09
n=11	(0.45)	(0.66)	(0.50)	(0.85)	(0.62)	(1.44)	(1.08)	(0.95)	(0.78)	(1.16)	(0.00)	(1.24)	(0.00)	(0.50)	(0.00)	(0.29)
	n.s.		*		*		*		n.s.		*		*		n.s.	
⑧エプロンシアター	1.42	1.67	3.33	4.00	2.17	3.17	2.83	3.92	1.92	2.33	1.58	2.33	1.25	2.25	1.92	4.83
n=12	(0.76)	(0.94)	(0.94)	(0.82)	(1.14)	(1.34)	(1.28)	(0.86)	(1.04)	(1.11)	(1.11)	(1.31)	(0.83)	(1.36)	(1.61)	(1.21)
	n.s.		n.s.		*		*		n.s.		*		*		*	

＊ $p<.05$

NII-Electronic Library Service

Japan Society of Research on Early Childhood Care and Education

表 2.　観察前と観察後の自信得点平均値（*SD*）と多重比較の結果

	< 内 容 >							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	前　後	前　後	前　後	前　後	前　後	前　後	前　後	前　後
<示範経験>								
①素話	1.58 3.67	2.92 4.00	2.83 2.83	2.67 3.33	2.67 2.83	1.33 1.75	1.33 1.58	1.25 1.50
n=12	(0.86)(0.85)	(0.76)(0.82)	(1.21)(1.21)	(0.62)(0.62)	(0.75)(1.14)	(0.85)(0.72)	(0.85)(0.64)	(0.60)(0.65)
	*	*	*n.s.*	*	*n.s.*	*n.s.*	*n.s.*	*n.s.*
②絵本	1.85 2.38	3.00 4.38	2.69 4.31	2.54 3.77	2.69 3.62	1.62 2.31	1.54 2.23	1.77 2.31
n=13	(1.17)(0.92)	(0.78)(0.84)	(1.26)(0.61)	(1.28)(0.70)	(0.91)(0.92)	(1.00)(0.91)	(1.01)(0.97)	(1.05)(1.07)
	n.s.	*	*	*	*	*	*	*n.s.*
③自己紹介・お別れのプレゼント	1.80 1.70	2.20 3.80	2.00 3.80	2.10 3.20	1.80 3.00	1.00 1.70	1.00 1.40	1.20 1.40
n=10	(0.87)(0.78)	(0.87)(0.60)	(1.18)(0.87)	(1.37)(1.08)	(0.98)(0.77)	(0.00)(0.64)	(0.00)(0.49)	(0.40)(0.49)
	n.s.	*	*	*	*	*	*n.s.*	*n.s.*
④手遊び・ゲイテイ遊び	1.56 1.78	2.78 4.11	2.33 3.56	2.56 3.56	2.33 3.44	1.33 1.89	1.22 1.78	1.11 1.56
n=9	(0.68)(0.92)	(0.63)(0.74)	(1.15)(1.34)	(0.83)(0.68)	(0.82)(1.26)	(0.47)(0.99)	(0.42)(0.79)	(0.31)(0.68)
	n.s.	*	*	*	*	*n.s.*	*n.s.*	*n.s.*
⑤紙芝居	2.71 2.71	2.86 4.29	2.79 3.93	2.43 3.50	2.86 4.07	1.79 2.43	1.86 1.93	1.86 1.93
n=14	(1.33) (1.16)	(1.06)(0.80)	(1.37)(1.10)	(1.29)(0.91)	(1.12)(1.03)	(0.77)(1.45)	(0.83)(1.03)	(1.12)(1.03)
	n.s.	*	*	*	*	*	*n.s.*	*n.s.*
⑥ペープサート	2.17 2.25	2.92 3.92	3.00 4.08	2.83 4.00	2.75 3.00	1.67 4.25	1.50 2.25	1.75 2.17
n=12	(0.69)(0.72)	(0.64)(0.86)	(1.00)(1.38)	(0.69)(0.82)	(0.92)(1.22)	(0.75)(1.01)	(0.65)(0.72)	(1.01)(0.69)
	n.s.	*	*	*	*n.s.*	*	*	*n.s.*
⑦カップシアター	1.45 1.91	2.73 3.55	1.73 3.18	2.18 2.82	1.91 3.09	1.36 2.27	1.45 4.27	1.36 1.55
n=11	(0.66)(0.79)	(0.62)(0.66)	(0.96)(0.72)	(0.94)(0.94)	(1.00)(0.90)	(0.64)(1.05)	(0.78)(0.75)	(0.64)(0.90)
	n.s.	*	*	*	*	*	*	*n.s.*
⑧エプロンシアター	2.08 2.42	2.92 3.92	2.33 3.25	2.50 3.67	2.50 3.17	1.92 2.42	1.42 2.67	2.00 4.58
n=12	(0.95)(1.11)	(1.11)(0.86)	(1.18)(0.92)	(0.96)(0.85)	(1.04)(0.90)	(1.26)(0.95)	(0.86)(1.37)	(1.22)(1.38)
	n.s.	*	*	*	*	*n.s.*	*	*

* $p<.05$

(1,85)=440.37,$P<.005$)、示範経験と前後(F(7,85)=4.31,$P<.005$)、内容と前後(F(7,595)=31.39,$P<.005$)、示範経験と内容と前後の交互作用(F(49,595)=2.35,$P<.005$)が有意であった。示範経験別の前後の得点に差が見られるか否かの多重比較の結果は、表 1 に示すとおりであった。

観察前後の自信得点平均値は表 2 のとおりであった。示範経験を被験者間要因、内容、前後を被験者内要因として 3 要因の分散分析を行った。その結果、内容(F(7,595)=121.86,$P<.005$)と前後の主効果(F(1,85)=86.52,$P<.005$)、示範経験と前後(F(49,595)=5.04,$P<.005$)、内容と前後(F(7,595)=21.28,$P<.005$)、示範経験と内容と前後の交互作用(F(49,595)=11.19,$P<.005$)が有意であった。示範経験別の前後の得点に差が見られるか否かの多重比較の結果は、表 2 に示すとおりであった。

2.モデルの自信に影響を及ぼす要因について

モデルの示範内容についての自信に影響を及ぼす要因を検討するために、示範した内容の自信の程度を従属変数とし、示範後に自己評価させたクラス反応、自己評価、熱心度、練習時間を独立変数として重回帰分析を行った。その結果は、表 3 に示すとおりであった。モデルの自信に正の影響を及ぼす要因は、クラス反応と練習時間であった。

表 3.　自信を従属変数とした重回帰分析の結果

独立変数	標準偏回帰係数
クラス反応	0.28*
自己評価	0.07
熱心度	0.16
練習時間	0.26*

R^2=0.23　* $p<.05$

【考察】

1.保育実技示範観察前後の準備および自信について

準備および自信どちらの得点においても、「前後の主効果」が有意であったことから、友人の保育実技を観察することによって、準備や自信の程度が高まったといえよう。ただし、「前後と内容と示範経験の交互作用」も有意であったことから、観察の効果は、示範経験や内容によって異なる。示範経験と内容と前後の多重比較の結果から、内容の「素話」「ペープサート」「カップシアター」「エプロンシアター」については、観察するだけでは十分といえず、モデルとなり示範することによって、準備や自信の程度が高まると考えられる。

2.モデルの自信に影響を及ぼす要因について

示範することによって、示範した内容についての自信は高まるが、モデル自身が示範に対するクラスの反応が良いと感じること、また、示範の準備に十分時間をかけることで、モデルの自信はさらに高くなると考えられる。

NII-Electronic Library Service